



大きく育ってね!



5月22日(日)、今年で43回目を迎える市民植樹祭が稚内公園スキー場跡地で行われ、市民団体や町内会、市内企業など15団体、102人が参加しました。

晴天に恵まれた今年は、チシマザクラやグイマツなど200本を植樹。今日植えた木が将来、大きく育つことを願いつつ、植樹を行いました。



みんなで呼びかけ「火の用心!」



4月20日(水)、稚内消防署では、春の火災予防運動期間に合わせ、幼稚園児による防火啓発を実施。消防庁舎の前では、集まった市内の各幼稚園児157名が、道行く車に、かわいく旗を振って火災予防をPRしました。

大健闘! 世界シニアカーリング選手権大会



4月にスウェーデンで開催された世界シニアカーリング選手権大会に、稚内カーリング協会の「川村みゆき選手」が日本女子チームの司令塔として出場し、大会の結果などを5月6日、工藤市長に報告しました。

参加した17チームでは「ベスト8」と健闘した川村選手は「貴重な国際交流の場でわがまち「稚内」のPRも行ってきました。シニア世界大会はシニアとは思えないパワーで驚きましたが、改めてカーリングは年齢に関係なく皆が楽しめる素晴らしいスポーツであることをこれからも伝えられるよう努力したい」と今後の意気込みを語っていました。

また、今年度は岩手県国民体育大会の開催年度にあたり、大船渡市はマラソン、グラウンドゴルフ、ウォーキングが開催されます。



完成したホテル

3月に行われた「第1回大船渡駅周辺地区まち開き」のあと、被災にあった地元ホテルと大規模小売店が完成、その他大型ホテルやホームセンターなどがたて続けにオープンしました。地域の皆さんには、5月の説明会で、あと2年10ヶ月で基盤整備工事の完成となることをお伝えしました。いよいよゴールが見えてきましたので、これからは建物づくり、賑わいづくり、人づくりと市民総力戦による復興に入ります。

最後に大船渡の歴史と私の夢について。当該土地区画整理事業区域に隣接し、大船渡湾が見渡せる「サン・アンドレス公園」の展望台

今年度の全国の応援職員は、南から北まで70名となり、私の所属する市街地整備課21名のうち11名が派遣職員で、今回、静岡県浜松市、山口県宇部市などから4名が新たな仲間に加わりました。南から来た職員は「大船渡は寒い寒い」と言っておりませんが、北海道の私は逆に、これから暑さとの戦いになります。



サンアンドレス公園の展望台

あれから405年経った大船渡の歴史と、この基盤整備工事があと3年で完成し、これから始まる新たな歴史を考え、これまで、復興事業に携わった方々と喜びを共有したいと思ひ、集まることを呼び掛けています。時は「2020年2月20日2時20分」場所は「サン・アンドレス公園」で。その時は宗谷防人(津軽藩士)が飲んだ「珈琲」を、参し、被災者の方々の鎮魂、そして事業完成をみんなで喜びたいと思ひます。(おわり)

みんな頑張っています!

おおふなと復興通信④

本市から岩手県大船渡市へ派遣している西間敏幸主査から、大船渡市の街の様子や復興の状況をお知らせします。



3月に行われた「第1回大船渡駅周辺地区まち開き」のあと、被災にあった地元ホテルと大規模小売店が完成、その他大型ホテルやホームセンターなどがたて続けにオープンしました。地域の皆さんには、5月の説明会で、あと2年10ヶ月で基盤整備工事の完成となることをお伝えしました。いよいよゴールが見えてきましたので、これからは建物づくり、賑わいづくり、人づくりと市民総力戦による復興に入ります。

元気がなくなっていくまちづくりをぜひ一度、みなさんもお覧になっていただきたいと思います。4月中旬には工藤市長が当地の視察に訪れました。震災後の状況から「よくここまで復興した」と驚き、3年目に入る私も気分を一新しスタートを切ることができました。

は、震災の被害を受けたものの残りませんでした。この公園の名は、1611年(慶長16年)スペインの使節として来日した「セバスチャン・ビスカイノ」が伊達政宗の許可を得て、聖アンドレスの祭日に入港したことを記念して付けられました。当時、当地は伊達藩領で、彼が大船渡市(おきり)に到着したその時に、慶長大地震に遭遇しました。